【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： NSC-194

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	Nivolumab+ Ipilimumab+ CBDCA+PEM	下記参照	規定なし	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	高	ChecMate 9LA N Engl J Med.2019:381:2020-31

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1					8					15					22					29					36		43
オプジーボは3週ごと、ヤーボイは6週ごとの投与を繰り返す																																	
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															↓													↓
②	オプジーボ 生理食塩液	360mg/body 100mL	点滴静注	30分	↓															↓													↓
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																												↓
④	ヤーボイ 生理食塩液	1㎎/kg 50mL	点滴静注	30分	↓																												↓
⑤	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															↓													↓
CBDCA+PEMは2コースで終了																																	
⑥	デキサート アロカリス パロノセトロン	9.9㎎ 235㎎ 0.75㎎	点滴静注	30分	↓															↓													
⑦	ペメトレキセド 生理食塩液	500㎎/㎡ 100ml(全量)	点滴静注	10分	↓															↓													
⑩	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC6 250mL	点滴静注	60分	↓															↓													
⑪	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓															↓													

＜注意事項/備考＞

- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽(空咳)など、胸部X線検査やSpO2モニタリングなどで定期的なモニタリングを
- ✓ 血糖上昇：口喝、多飲、多尿、倦怠感などの症状に注意、来院時には血糖値の測定を
- ✓ 大腸炎・下痢：持続する腹痛、嘔吐、下痢、血便など
- ✓ 甲状腺機能障害：投与中は定期的にTSH、FT3、FT4などの検査を
- ✓ PEMの副作用軽減目的のために、葉酸とビタミンB12を併用

葉酸：初回投与7日以上前から1日1回0.5mgを連日経口投与（PEM中止/終了の場合は、最終投与から22日目まで継続）
ビタミンB12：初回投与少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与（投与期間中、投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与）
✓ Nivo、Ipi：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与